

# 第1回

## 3級

例題  
(3級)

### 漫画技法検定

### 試験問題

(制限時間 120分間)

#### 《注意事項》

1. 合図があるまで、問題用紙を開かないで下さい。
2. 試験委員の指示をよく聞いて下さい。
3. 受験票および下記の画材以外のものは、机の上に出さないで下さい。  
下描き用 鉛筆(シャープ可)、消しゴム  
ペン入れ用 つけペンセット(ペン先・ペン軸・インク)、ミリペン、フェルトペン等  
ベタ塗り用 筆ペン、面相筆、墨汁、油性マジック等  
ホワイト ミスノン、ホワイトインク、修整ペン  
トーン 使用しません
4. 解答は決められた用紙の枠の中に描画して、正しく使用してください。
5. 公開会場受験の方は試験中に受験票を回収いたしますので通路側の机の上の部分に置いてください。
6. 解答用紙は試験終了後に回収いたします。折り曲げたり汚したりしないでください。

### 3級 - 漫画技法検定課題

次ページは、タイトル「ラブレター」の中のシーンです。見本原稿のラフ（ネーム）の人物をオリジナルキャラクターに変えて1ページ原稿を完成させなさい。

登場人物

優希（主人公） 高校1年生  
正夫（優希のクラスメート） 高校1年生  
亜紀（主人公優希のクラスメート） 高校1年生

シナリオ内容

高校1年生の正夫が同じクラスの優希にラブレターを渡そうとしました。しかし正夫は優希に自分からのラブレターだと言えませんでした。優希は正夫がラブレターを代理で渡すように頼まれたと勘違いして二つに破ってしまいます。初めてのラブレターでちゃんと本人が渡してくれたら前向きに考えるという優希から、照れて破れた片方のラブレターを奪って逃げだしてしまいました。優希の手元には破れた片方のラブレターが残りました。その時のことを友達の亜紀に話しながら悔やんでいます。次のページは亜紀が優希を慰めているシーンです。

先日、優希と正夫との間に次のようなやり取りがありました。

優希「このラブレターは誰からなのよ」

正夫「それはいえない」

優希「誰かに頼まれたのね、渡してこいって」

正夫「そ そんなところだ」

優希「あっそう」「それじゃ」

ラブレターをおもいきり破り捨てる優希

正夫「あー」「何すんだよ 破くことないだろ」

優希は怒った表情で

優希「だってラブレターを代理人に頼むなんて男らしくないよ」

「受け取れない」

優希「ばかよね」「生まれて初めてのラブレターだから」

「前向きに考えたのにさ」

正夫「そ…そうだったのか」

正夫「いまさら俺だっていえないよな」

真っ二つに破れたラブレターの片方を奪い取り

慌てて走り去る正夫。もう片方は優希の手元にある。

---

指示1 描画は下書きからペン入れ、ベタ塗り、消しゴムかけまでの工程とします。

指示2 トーンは使用しません。

指示3 背景は不要です。

指示4 洋服は自由な服装で構いません。

指示5 髪の毛の長さは変えても構いません。

指示6 コマ数、コマ割り、セリフを変更しないで下さい。



生まれて初めて  
もらったラブレター

破いちやった  
最悪ね…

知らないうちに  
人を傷つけてしまうつて  
こういうのをいうのね

優希は  
正直なだけよ

代理でラブレターなんか  
渡そうとするなんて  
正夫が悪いんだよ

とりあえず  
代理人の  
正夫に返すしか  
ないでしょ

これ返さ  
なきゃ  
でも誰からなのか  
わからないの

[ 解答用紙 ]